

2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年5月10日

上場会社名 株式会社ホロン 上場取引所 東  
 コード番号 7748 URL http://www.holon-ltd.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)張 皓  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長 (氏名)菅野 明郎 (TEL) 04-2945-2951  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月26日 配当支払開始予定日 2019年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の業績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	2,958	124.9	811	568.7	811	602.7	564	348.4
2018年3月期	1,315	37.2	121	△7.8	115	△10.9	125	14.8

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	168.99	—	38.5	29.4	27.4
2018年3月期	37.69	—	11.1	5.5	9.2

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 一百万円 2018年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	3,375	1,740	51.6	521.02
2018年3月期	2,138	1,192	55.8	357.13

(参考) 自己資本 2019年3月期 1,740百万円 2018年3月期 1,192百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,035	△61	△191	1,097
2018年3月期	△16	△14	△259	316

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	16	13.3	1.5
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	50	8.9	3.4
2020年3月期 (予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		11.3	

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

当社の主力事業である製品事業では、装置1台あたりの販売価格が非常に高額なことから、得意先の検収のタイミングにより売上計上時期は大きく変動する可能性があります。従って、月次ごと及び四半期ごとの見通しは立てにくい状況にあるため、業績予想は当社の年間目標として通期のみ開示いたします。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,036	2.6	849	4.7	843	4.0	590	4.6	176.75

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	3,340,500 株	2018年3月期	3,340,500 株
② 期末自己株式数	2019年3月期	319 株	2018年3月期	78 株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	3,340,323 株	2018年3月期	3,340,456 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調が続いておりますが、海外経済におきましては、米中貿易摩擦の長期化、英国のEU離脱に関する影響をはじめ不透明な状況が続いております。

半導体業界におきましては、2018年よりNAND型フラッシュメモリをはじめDRAM、SSDのメモリ価格の下落が進んでおりますが、半導体製造会社大手の微細化への投資は依然旺盛であります。

このような状況のもと、当社の主力製品であるマスクCD-SEM機「Zシリーズ」、当社保有技術の核となる「電子顕微鏡カラム」を順調に出荷し、2018年11月6日に発表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」の通り、上振れした業績予想を予定通り達成することができました。

上記の結果、当期の売上高は2,958百万円（前年同期比124.9%増）となりました。損益につきましては、営業利益811百万円（前年同期比568.7%増）、経常利益811百万円（前年同期比602.7%増）及び当期純利益564百万円（前年同期比348.4%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### 資産・負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて82.9%増加し、2,938百万円となりました。これは、受取手形が10百万円、電子記録債権が14百万円減少した一方、現金及び預金が781百万円、仕掛品が406百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて17.9%減少し、436百万円となりました。これは、有形固定資産が55百万円、投資その他の資産が29百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産合計は、前事業年度末に比べて57.9%増加し、3,375百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて119.1%増加し、1,410百万円となりました。これは、短期借入金が45百万円、1年内返済予定の長期借入金が39百万円減少した一方、未払法人税等が185百万円、前受金が245百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて25.4%減少し、224百万円となりました。これは、長期借入金が85百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて73.0%増加し、1,635百万円となりました。

##### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて45.9%増加し、1,740百万円となりました。これは、利益剰余金が547百万円増加したことなどによります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ781百万円増加し、1,097百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,035百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加が468百万円、売上債権の増加が41百万円あった一方、税引前当期純利益804百万円、仕入債務の増加が355百万円あったことなどによります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は61百万円となりました。これは、敷金及び保証金の返還による収入が15百万円あった一方、無形固定資産の取得による支出が34百万円、敷金及び保証金の差入による支出が23百万円あったことなどによります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は191百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が125百万円あったことなどによります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率(%)	49.3	52.9	52.1	55.8	51.6
時価ベースの自己資本比率(%)	171.4	96.3	91.4	112.3	184.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	—	135.8	456.8	—	20.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	84.1	50.4	—	754.9

(注) 1 各比率の算定方法は、以下のとおりであります。

自己資本比率：自己資本 ÷ 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 ÷ 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 ÷ 営業活動によるキャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業活動によるキャッシュ・フロー ÷ 利払い

2 2015年3月期及び2018年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

3 株式時価総額は、期末株価×(期末発行済株式総数－期末自己株式数)により算出しております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、好調な当期の影響から期をまたぐ製品受注もいただいておりますので、新元号「令和」のもと、よいスタートが切れると期待しております。

半導体業界は、引き続きEUVリソグラフィーの量産導入に対応した検査装置の需要拡大が見込めます。

世界市場における半導体前工程装置への投資につきましては、2019年はメモリ分野における減速のため前年比減となるものの、2020年には急回復し、過去最高の投資額となると国際半導体製造装置材料協会 (SEMI) は予測しております。

なお、当社の主力事業である製品事業では、装置1台あたりの販売価格が非常に高額なことから、得意先の検収のタイミングにより売上計上時期は大きく変動する可能性があります。従って、月次ごと及び四半期ごとの見通しは立てにくい状況にあるため、業績予想は当社の年間目標として通期のみ開示いたします。

次期の年間目標につきましては、売上高3,036百万円、営業利益849百万円、経常利益843百万円、当期純利益590百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	336,141	1,117,218
受取手形	14,122	3,476
電子記録債権	158,220	143,856
売掛金	585,462	651,633
仕掛品	420,073	826,481
原材料	64,436	125,770
前払費用	2,885	3,171
未収消費税等	24,587	61,649
未収還付法人税等	-	3,734
その他	778	1,905
流動資産合計	1,606,707	2,938,897
固定資産		
有形固定資産		
建物	156,959	156,959
減価償却累計額	△124,032	△126,313
建物(純額)	32,926	30,646
構築物	720	720
減価償却累計額	△494	△526
構築物(純額)	225	193
機械及び装置	17,433	23,260
減価償却累計額	△11,434	△14,687
機械及び装置(純額)	5,999	8,572
車両運搬具	1,621	313
減価償却累計額	△1,621	△313
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	355,839	351,122
減価償却累計額	△140,818	△203,380
工具、器具及び備品(純額)	215,021	147,742
土地	57,774	57,774
リース資産	23,257	41,236
減価償却累計額	△12,879	△17,113
リース資産(純額)	10,378	24,123
建設仮勘定	2,258	-
有形固定資産合計	324,584	269,052

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
無形固定資産		
ソフトウェア	68,332	40,152
ソフトウェア仮勘定	37	18,587
無形固定資産合計	68,370	58,739
投資その他の資産		
投資有価証券	1,276	1,276
繰延税金資産	70,709	29,504
敷金及び保証金	66,611	73,722
その他	22	4,330
投資その他の資産合計	138,619	108,832
固定資産合計	531,574	436,624
資産合計	2,138,281	3,375,522

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	15,574	37,072
電子記録債務	104,313	280,079
買掛金	232,825	387,593
短期借入金	45,000	-
1年内返済予定の長期借入金	125,007	85,556
リース債務	4,030	6,778
未払金	47,781	72,169
未払費用	18,854	27,566
未払法人税等	17,121	202,367
前受金	750	246,240
預り金	4,906	6,405
賞与引当金	10,329	30,794
製品保証引当金	17,247	26,018
その他	-	1,663
流動負債合計	643,742	1,410,304
固定負債		
長期借入金	183,066	97,510
リース債務	9,055	20,553
退職給付引当金	109,469	106,847
固定負債合計	301,591	224,910
負債合計	945,333	1,635,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	692,361	692,361
資本剰余金		
資本準備金	163,754	163,754
資本剰余金合計	163,754	163,754
利益剰余金		
利益準備金	3,340	5,010
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	333,545	879,639
利益剰余金合計	336,885	884,650
自己株式	△53	△458
株主資本合計	1,192,948	1,740,307
純資産合計	1,192,948	1,740,307
負債純資産合計	2,138,281	3,375,522



## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>売上高</b>		
製品売上高	1,182,663	2,657,630
その他の事業売上高	133,089	301,105
売上高合計	1,315,752	2,958,735
<b>売上原価</b>		
当期製品製造原価	757,183	1,454,555
ソフトウェア償却費	31,496	39,293
売上原価合計	788,679	1,493,848
<b>売上総利益</b>	<b>527,072</b>	<b>1,464,886</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>		
販売手数料	32,700	138,558
役員報酬	36,600	62,086
給料及び手当	54,838	65,043
賞与	11,421	26,569
退職給付費用	5,554	2,322
賞与引当金繰入額	2,589	9,426
法定福利費	12,853	15,965
研究開発費	89,169	114,585
修繕維持費	4,462	5,193
販売促進費	33,510	14,839
減価償却費	22,723	23,601
支払手数料	21,435	26,732
製品保証維持費	7,390	33,302
製品保証引当金繰入額	2,414	12,955
その他	68,024	101,986
販売費及び一般管理費合計	405,688	653,167
<b>営業利益</b>	<b>121,384</b>	<b>811,719</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	45	41
為替差益	-	503
その他	74	331
営業外収益合計	120	876
<b>営業外費用</b>		
支払利息	1,990	1,377
為替差損	4,071	-
その他	6	-
営業外費用合計	6,068	1,377
<b>経常利益</b>	<b>115,435</b>	<b>811,217</b>
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	88	-
特別利益合計	88	-
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	-	0
減損損失	25,000	-
補助金返還損	2,937	7,037
特別損失合計	27,937	7,037
<b>税引前当期純利益</b>	<b>87,586</b>	<b>804,180</b>
法人税、住民税及び事業税	16,482	198,509
法人税等調整額	△54,790	41,204

法人税等合計	△38,307	239,714
当期純利益	125,894	564,466

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	692,361	163,754	163,754	1,670	226,023	227,694	—	1,083,810	1,083,810
当期変動額									
当期純利益					125,894	125,894		125,894	125,894
利益準備金の積立				1,670	△1,670	—		—	—
剰余金の配当					△16,702	△16,702		△16,702	△16,702
自己株式の取得							△53	△53	△53
当期変動額合計	—	—	—	1,670	107,521	109,191	△53	109,138	109,138
当期末残高	692,361	163,754	163,754	3,340	333,545	336,885	△53	1,192,948	1,192,948

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	692,361	163,754	163,754	3,340	333,545	336,885	△53	1,192,948	1,192,948
当期変動額									
当期純利益					564,466	564,466		564,466	564,466
利益準備金の積立				1,670	△1,670	—		—	—
剰余金の配当					△16,702	△16,702		△16,702	△16,702
自己株式の取得							△405	△405	△405
当期変動額合計	—	—	—	1,670	546,093	547,764	△405	547,358	547,358
当期末残高	692,361	163,754	163,754	5,010	879,639	884,650	△458	1,740,307	1,740,307

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	87,586	804,180
減価償却費	97,111	126,865
減損損失	25,000	-
固定資産除却損	-	0
固定資産売却損益(△は益)	△88	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	344	20,464
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△12,592	8,771
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,620	△2,622
受取利息及び受取配当金	△45	△41
支払利息	1,990	1,377
為替差損益(△は益)	1,440	2,460
売上債権の増減額(△は増加)	△249,354	△41,161
たな卸資産の増減額(△は増加)	△112,891	△468,531
仕入債務の増減額(△は減少)	254,071	355,468
前受金の増減額(△は減少)	△94,250	245,490
未収消費税等の増減額(△は増加)	△24,587	△37,061
未払消費税等の増減額(△は減少)	△19,586	1,663
預り金の増減額(△は減少)	△61	1,498
その他	23,466	45,207
小計	△17,823	1,064,030
利息及び配当金の受取額	45	41
利息の支払額	△1,906	△1,371
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	3,344	△27,202
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,338	1,035,498
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△12,003	-
定期預金の払戻による収入	56,006	-
有形固定資産の取得による支出	△20,340	△18,236
有形固定資産の売却による収入	88	-
無形固定資産の取得による支出	△23,221	△34,660
敷金及び保証金の差入による支出	△15,228	△23,784
敷金及び保証金の返還による収入	-	15,376
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,698	△61,305
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△105,000	△45,000
長期借入金の返済による支出	△134,064	△125,007
リース債務の返済による支出	△3,923	△4,943
自己株式の取得による支出	△53	△405
配当金の支払額	△16,512	△16,596
財務活動によるキャッシュ・フロー	△259,554	△191,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,345	△1,163
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△291,937	781,077
現金及び現金同等物の期首残高	608,078	316,141
現金及び現金同等物の期末残高	316,141	1,097,218

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

当社は、電子ビーム技術を応用した製品・サービスの単一事業となっています。したがって、当社は、「電子ビーム関連」を単一の報告セグメントとしているため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当社は、電子ビーム技術を応用した製品・サービスの単一事業となっています。したがって、当社は、「電子ビーム関連」を単一の報告セグメントとしているため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

関連会社がないため、記載しておりません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	357.13円	521.02円
1株当たり当期純利益	37.69円	168.99円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益(千円)	125,894	564,466
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	125,894	564,466
普通株式の期中平均株式数(株)	3,340,456	3,340,323

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,192,948	1,740,307
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,192,948	1,740,307
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,340,422	3,340,181

(重要な後発事象)

該当事項はありません。